

日本大学

「自主創造」を教育理念に掲げる日本最大級の総合大学・日本大学は、多彩な選抜方式を導入することで受験生に多様な選択肢を用意している。なかでも「N全学統一方式」は、感染リスクや経済負担の軽減、3月に受験可能な第2期を設けるなど、同学が特に力を入れている選抜方式だ。

受験生にやさしく、合格のチャンスを

広げる「N全学統一方式」

日本大学が特に力を入れている選抜方式が、受験生のさまざまな負担や不安を軽減する、日本最大級※の統一入試「N全学統一方式」だ。2011年度から続いているこの選抜方式は、「受験生にやさしく、合格のチャンスを広げる入試」として志願者数を増やしている。

「N全学統一方式」は第1期・第2期に分かれており、いずれも同一試験日、同一問題で同一学部内を含む複数の学部（学科）を併願可能だ。入学検定料は18,000円（一部学部を除く）で、「A個別方式」よりも入学検定料をおさえて受験に臨むことができる。

感染リスクから経済的負担まで軽減する

「N全学統一方式第1期」

「N全学統一方式」のうち、第1期は全国の主要都市に試験場が設けられていることが大きな魅力だ。首都圏に足を運ぶ必要がなく、受験生の心身の負担や移動に伴う感染リスクを軽減できる。1月20日（金）まで出願可能で、試験日が2月1日（水）に設定されている（医学部のみ、一次試験2月1日（水）、二次試験2月11日（土・祝））。早めの受験対策を行った上で、他大学との併願計画も立てやすい。

また、「A個別方式」と「N全学統一方式第1期」において同一学部同一学科（コース）を同時出願した場合、「N全学統一方式第1期」の入学検定料が0円になる。受験生のチャンス

を広げるだけでなく、経済的な負担も軽減する入試となっている。

「N全学統一方式第2期」は3月に受験可

「N全学統一方式第2期」は、従来どおりの10学部に加え、2023年度から芸術学部、理工学部、工学部、薬学部、短期大学部（一部学科）、および生物資源科学部獣医学科でも実施される。出願は2月24日（金）まで可能で、3月4日（土）に受験できる（医学部のみ、一次試験3月4日（土）、二次試験3月17日（金））。3月に受験できる大学は比較的少ない上、多くの大学が大学入学共通テスト利用入試を実施している。しかし、「N全学統一方式第2期」は統一入試のため、大学入学共通テストの点数が振るわなかった受験生が今一度、受験生自身の力を発揮することができ、第1期同様、併願によって合格のチャンスを広げることができる。

経済学部・商学部A個別方式で

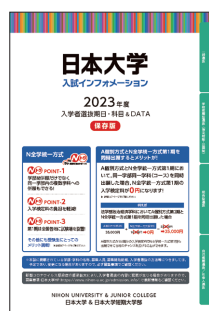
英語外部試験を利用可能

従来の経済学部に加え、2023年度からは商学部でも、英語外部試験のスコアを換算基準により英語の得点として利用できる。スコアを提出した場合は試験当日英語を受験する必要はないが、受験した場合は、高得点の方を合否判定に使用する。経済学部は実用英語技能検定、TEAP、TEAP CBT、IELTS、TOEFL iBTが利用可能。商学部は実用英語技能検定のみ利用可能だ。

※16学部86学科・短期大学部4学科の計90学科で実施（第1期）。

INFORMATION

入試情報の詳細は大学Webサイト、または入試インフォメーションでご確認ください。



本学部学務部 次長
中村 好延

期待する受験生像

それぞれの学部キャンパスには学部の特質を活かすための施設、設備が充実していて、専門性を活かした効果的な授業が展開されています。その一方で、日本大学の学生として共通して身に付けるべき学修姿勢などを涵養する全学共通の初年次教育科目や、日本の歴史・文化・社会・精神・自然・環境などの理解を深めるための教養基盤科目を展開しています。専門分野のスキルを伸ばしながら、違う分野の仲間とコミュニケーションやインクルージョンを図り、世界に“日本”を発信していきたい。そんな受験生をお待ちしております。



「教員が何を教えるか」から「学生が何をできるようにするか」を重視したアウトカム基盤型教育を推進。



6人1グループで定められたテーマに関して第1～3ラウンドに渡る意見交換を行う。



「日本大学ワールド・カフェ」学部混在型グループワークで、学生の主体性を育む教育をめざす。



医学部学生の声
「学部ごとに学生のカラーや学びに対する姿勢が異なり、総合大学を実感した機会でした」

アロー総研のフカボリ

多様性ある社会で躍進できる「自主創造」の力を養成

現代社会は、地球環境や経済、国際関係、倫理など多様性を有し、さらに災害やテロリズム、ウイルスのまん延などが複雑に絡み合う深刻な課題も抱えている。それらの社会課題に対応できるよう、日本大学では、専門教育だけでなく

主体性や課題解決能力などの汎用的能力と教養教育を身に付けた「自主創造」の力の養成に力を入れている。

全学共通教育科目「自主創造の基礎2」では、学部を横断して異なる分野の学生が触れ合う機会を設けている。あらゆ

る学問領域を網羅した総合大学だけに、それぞれの学生の目標は弁護士や医師、俳優、エンジニアなど多岐に渡る。「多様性」をキーワードにさまざまな価値観に触れながらチームワークを磨くことで、広い視野を養えるプログラムだ。

2023年度 入学者選抜の種類

※期日・科目等については、変更になる場合がありますので、必ず募集要項で確認してください。

		実施学部	法	文	経	商	芸	国際	危機	スポ	理工	生産	工	医	歯	松	生物	薬	短大	
			法	文	経	商	芸	国際	危機	スポ	理工	生産	工	医	歯	松	生物	薬	ビジネス	建築
一般選抜	A個別方式	各学部等が独自に実施する一般選抜です。学部本校舎以外にも試験場を設ける場合があります。	※1	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	N全学統一方式	同一試験日、同一問題で複数の学部(学科)を併願することができます。入学検定料が18,000円(医は60,000円、歯は24,000円)になります。第1期では地方試験場を設けます。	第1期	●	●	●	●	※7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
			第2期	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	C共通テスト利用方式	大学入学共通テストの得点を利用して可否を判定します。*	●	※4	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	CA共通テスト併用方式	大学入学共通テストと、学部独自の試験等の得点の合計点で可否を判定します。*	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
学校推薦型選抜	指定校制	学部や短大各学科が高等学校等を指定し、その高等学校等で推薦を受けた生徒だけに出席を認める選抜です。	●	※5	●	●	※8	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	公募制	学業成績や資格の所持など、学部や短大各学科が定める一定の要件を満たし、高等学校等で推薦を受けた生徒だけが出席できる選抜です。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
総合型選抜		学力だけでなく、志望する学部・学科での専門分野を学びたいという強い意欲や適性などが重視される選抜です。	※2	※6	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	※9	●	●	●
自己推薦選抜		高等学校・中等教育学校卒業(見込み)者で、出席要件を満たす者を対象としています。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
社会人選抜		一定の要件を満たす社会人を対象に、法学部(第二部)、短大ビジネス教養、食物栄養、建築・生活デザイン、ものづくり・サイエンス総合各学科で実施します。	※3	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※1 第3期は第二部(夜間部) 法律学科のみ実施。 ※2 第一部(昼間部) 法律学科法曹コース及び第二部(夜間部) 法律学科を除く。 ※3 第二部(夜間部) 法律学科のみ実施。 ※4 第1期は全学科で実施。第2期は哲学、英文、数学、物理、生命、化学、地学、工学、医歯、薬、建築、芸術、国際、危機、スポーツ、理工、生産、工、医、歯、松、生物、薬、ビジネス、建築、総合各学科で実施。 ※5 国文学、中国語中国文学、英文学、ドイツ文学、地理学、地球科学、数学、情報科学、物理学、生命科学、化学で実施。 ※6 哲学、史学、国文学、中国語中国文学、英文学、ドイツ文学、社会福祉学、体育学、地理学、地球科学、情報科学、化学で実施。 ※7 音楽学科(音楽教育、弦管打楽コース)を除く。 ※8 美術学科、デザイン学科で実施。 ※9 獣医学科を除く。

● 英語の資格・検定試験を利用できる。

● 英語の資格・検定試験を利用できる(文理学部は中国語中国文学と英文学のみ、経済学部は経済学科国際コースのみ、商学部指定校制と国際関係学部指定校制は【全国商業高等学校長協会特別推薦】のみ、商学部公募制は【普通科等在学】のみ)。

*「令和5年度大学入学共通テスト」の成績を利用。

● 英語の資格・検定試験を利用できる(法学部は経営法学と公共政策学科のみ、文理学部は英文学のみ、経済学部は【資格取得型】のみ、国際関係学部は【海外経験・語学活用方式】のみ、理工学部は海洋建築工学科と航空宇宙工学科のみ)。

● 2023年度から新規導入。